

Central Daily Market Report

2019年12月19日(木)

セントラル短資株式会社 総合企画部

●資金需給

単位：億円	2019年12月19日		2019年12月20日		2019年12月23日	
	需給速報		需給予想		当社予想	
銀行券	▲ 3,900		▲ 3,200		▲ 2,000	
財政	200		80,500		▲ 6,000	
資金過不足	▲ 3,700		77,300		▲ 8,000	
金融調節	スタート	エンド	スタート	エンド	スタート	エンド
貸出						
全店共通						
国債買現						
国債売現						
国庫短期証買入						
国債買入	11,300					
CP等買入		▲ 200		▲ 800		
貸出支援基金(成)						
貸出支援基金(貸)						
被災地支援			100	▲ 100		
社債等買入				▲ 600		
E T F 買入			900			
国債補完供給	▲ 500	100		500		
当預増減	7,000		77,300		▲ 8,000	
当座預金残高	3,969,000		4,046,300		4,038,300	
準備預金残高	3,449,200					
積み終了先	3,434,400				12月20日以降の残り所要積立額	
超過準備	3,430,400				積数	
非準備預金先	519,800				1日平均	
					900	
積み期間(12/16~1/15)の所要準備額					3,227,400	
準備預金進捗率	実績	99.22%	日数	12.90%		

●2019年12月19日の市場動向

<インターバンク市場>

本日の無担O/N物は、邦銀を中心に▲0.087~▲0.040%の出会いが中心となった。概ね横ばい圏で推移し、一巡後は▲0.087%で調整の出会いが見られるのみだった。ターム物に関してはショートターム物で出会いが散見された。金融政策決定会合では、現状維持が決定された。

<レポ市場>

GC T/N(12/20-12/23)は、▲0.095~▲0.080%程度での出会い。SCはロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。個別銘柄では2Y402~407、10Y335~356、5Y136~141、20Y167~170、30Y59~64、40Y9~12等にビッドの出入りがあった。

<短国市場>

現先レート(T/N)は、横ばい圏で推移。アウトライト市場は、動きなく閑散中、1Y物が▲0.123~▲0.120%で出合った。

<CP市場>

現先レートは低位で推移した。発行案件は膨らまないものの、医薬品や電気ガス業態で比較的多まった額の調達が行われ、発行総額は850億円程度と償還総額の750億円程度を上回った。発行レートについては、引き続き横ばい圏で推移した。

●短期金融市場関連指標

2019/12/19	無担(速報)			有担(速報)			短国	東京レポレート	JGB新発10年債		日経平均株価		ドル/円	
	単位:%	最低	最高	平均	最低	最高			平均	直近値	前日比	15時時点	前日比	為替(9時)
O/N	▲ 0.087	0.001	▲ 0.061				-	▲ 0.091	▲ 0.010	0.010	23,864.85	▲ 69.58	109.54-56	109.57-58
T/N							-	▲ 0.095						
S/N							-	-						
1W			▲ 0.040				-	▲ 0.096						
2W							-	▲ 0.108						
3W							-	▲ 0.108						
1M			0.000				-	▲ 0.105						
3M							▲ 0.150	▲ 0.110						
6M							▲ 0.155	▲ 0.157						
1Y							▲ 0.120	▲ 0.178						
									日付	12/12	12/13	12/16	12/17	12/18
									日銀当預残	3,896,300	3,963,200	3,977,500	3,974,500	3,962,000
									準備預金残	3,381,600	3,442,900	3,463,200	3,454,400	3,449,600
									マネタリーベース	5,036,300	5,106,000	5,122,100	5,121,300	5,111,400
									無担O/N加重平均	▲0.009%	▲0.008%	▲0.053%	▲0.057%	▲0.060%
									コール市場残高	88,250	79,421	105,082	104,002	107,129
									うち無担	69,399	60,202	82,865	82,098	85,051
									うちO/N	46,489	39,142	57,790	56,073	58,231
									うち有担	18,851	19,219	22,217	21,904	22,078

●入札結果

本日は財務省による国債等の入札は実施されませんでした。

●オペ結果

種類	オファー額 (億円・ 百万ドル)	スタート日	エンド日	貸付 利率	応札総額 (億円・ 百万ドル)	落札総額 (億円・ 百万ドル)	按分レート ・利回較差 ・価格較差	全取レート ・利回較差 ・価格較差	平均落札レート ・利回較差 ・価格較差	按分 比率
国債補完供給(国債売現先)・即日(午前オファー分)		2019/12/19	2019/12/20	▲ 0.350	537	537		▲ 0.350	▲ 0.350	
国債補完供給(国債売現先)・即日(午後オファー分)		2019/12/19	2019/12/20	▲ 0.350	0	0				

●2019年12月20日の予定

- *11月の全国消費者物価指数(GPI) 市場予想: 前年同月比(除く生鮮)+0.5%
- *7-9月期の資金循環統計速報 *月例経済報告
- *米国7-9月期のGDP確報値
- *米国11月の個人所得・消費支出
- *英国7-9月期のGDP確報値
- *国庫短期証券(878回)入札(3ヶ月、43,400億円、12/23発行)
- *流動性供給入札(6,000億円、12/23発行)

●日銀金融政策決定会合・結果

- 現行の金融市場調節方針を維持することを賛成多数で決定。
 - (1)長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)(賛成7反対2)
 - 短期金利: 日本銀行当座預金のうち政策金利残高に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
 - 長期金利: 10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、長期国債の買入れを行う。その際、金利は、経済・物価情勢等に応じて上下にある程度変動しうるものとし(金利が急速に上昇する場合には、迅速かつ適切に国債買入れを実施する)、買入れ額については、保有残高の増加額年間約80兆円をめどとして、弾力的な買入れを実施する。
 - (2)資産買入れ方針(全員一致)(長期国債以外の資産の買入れについて)
 - ①ETFおよびJ-REITについて、保有残高が、それぞれ年間約6兆円、年間約900億円に相当するペースで増加するよう買入れを行う。その際、資産価格のプレミアムへの働きかけを適切に行う観点から、市場の状況に応じて、買入れ額は上下に変動しうるものとする。
 - ②CP等、社債等について、それぞれ約2.2兆円、約3.2兆円の残高を維持する。
- 「ETF貸付制度の導入について」「貸出増加支援資金供給の見直しについて」を公表。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。

◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入